



諏訪湖通信46号

令和4年4月20日号 発行:諏訪湖創生ビジョン推進会議



ヒシを活用した堆肥 令和3年度諏訪湖流域資源循環普及事業

諏訪湖には上流域から窒素やりんなどの栄養塩類が流入し、富栄養化の原因となっていますが、この栄養塩類を吸収したヒシを刈り取って堆肥化し、地元小中学校等で利用を促進する事業です。諏訪湖の水質改善につながるのと同時に、流域内での物質循環をヒシ堆肥の活用により体験していただくことができ、小中学生をはじめとした地域住民の皆様にも「地域の価値を自分たちで磨き高めていく」ことを実感していただける取組として、令和3年度から開始しました。



管内47の小中学校・養護学校に配布しましたが、児童、生徒の皆様には、学校の畑、花壇等で堆肥を利用する体験を通して、諏訪地域の環境保全や資源の地域循環について学んでいただきたいと思います。また、諏訪地域における環境イベント等でも配布し、地域住民の皆様にも環境保全や資源の地域循環に関心を持っていただき、地域における活動が活発になっていくことを期待しています。

令和4年3月14日には、諏訪市立上諏訪中学校、諏訪市立上諏訪小学校へヒシ堆肥の贈呈式を行いました。上諏訪中学校での贈呈式では、諏訪地域振興局環境課の職員から上諏訪中学校ボランティア委員会の宮澤花音委員長と、玉田佑美副委員長に手渡しました。



上諏訪中学校での贈呈式の様子

各学校での活用状況や活用予定については、ヒシ堆肥と同時に配布したアンケートによりご回答いただき、学校の畑や花壇で活用する、流域内での資源循環について授業で取り扱う、といったお声をいただいています。

本事業は令和4年度も実施する予定ですので、引き続き皆様へヒシ堆肥をご利用いただくとともに、諏訪湖の環境改善に向けた地域での活動にもぜひご参加いただければと思います。

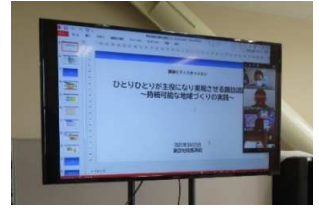
ひとりひとりが主役になり実現させる諏訪湖創生 ～持続可能な地域づくりの実践～

3月23日(水)午後2時から午後4時30分まで、諏訪湖創生ビジョンの改定に向けての機運醸成、今後活動が予定されている「諏訪湖の案内人(仮称)」を始めとしたビジョンに基づく活動を活発化させていくため、先進事例等を聞く機会を設け、意見を交わす講演会をオンラインで開催しました。

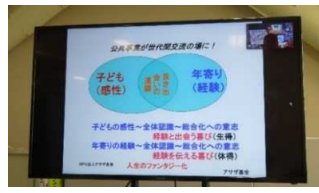
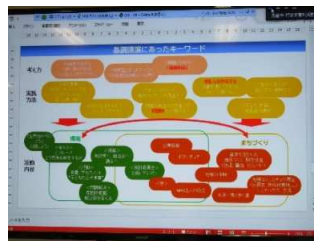
前半では、先進事例として、霞ヶ浦で活動している「NPO法人アサザ基金」の代表理事 飯島博さんのお話をお聞きしました。講演では、100年後の霞ヶ浦のため「自然保護でない、価値創造による水源地の再生」「答えの共有から問いの共有へ」といったいくつかのキーワードを交え、貴重なお話をお聞きしました。

後半は、ショートプレゼンテーションとして、推進会議に参加している3団体(諏訪湖八ヶ岳自転車活用推進協議会、(一社)諏訪観光協会、諏訪湖クラブ)の皆さんから、諏訪湖に関する活動について発表をしていただき、その後は、講師の飯島さん、プレゼンターの3名の皆さん、参加の皆さんを交えて意見交換を行いました。

諏訪湖に関する様々な思いが聞ける場となり、今後の活動に向けて参考となりました。



先進事例の紹介



講演会のまとめ

諏訪湖畔にも春到来

諏訪湖畔では、桜が開花するとともに、開花した樹の麓では水仙なども開花し、春を実感させる時期を迎えています。

4月11日には、諏訪湖の観光シーズンを告げる諏訪湖開きも行われました。

感染対策を行い、春の諏訪湖を訪ねてみてください。



諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局:諏訪地域振興局企画振興課 TEL:0266-57-2901



諏訪湖通信47号

令和4年5月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



宮原渉諏訪地域振興局長 あいさつ

この4月に新たに、諏訪地域振興局長として赴任しました宮原渉局長のあいさつを掲載します。新局長を迎え、諏訪湖創生ビジョンは、次のステップに向けて、取り組んでいきます。

諏訪地域は、縄文時代、日本で最も栄えた地のひとつであり、その様子は「縄文銀座」とも例えられています。その後神話にもたびたび登場し、御柱祭や諏訪湖の御神渡りなど独自の文化、習慣が今日まで受け継がれている神秘的な地域です。

その一方、明治・大正時代を中心に製糸業が、高度成長期には精密機械産業が発展し、日本をリードするなど、ものづくりの伝統も脈々と息づいています。

さらには、諏訪湖では、サイクリングやジョギング、カヤックなどのマリンスポーツも楽しめ、少し足を延ばせばハケ岳や霧ヶ峰など雄大な自然が私たちの心を癒してくれる、多様な魅力に満ちた地域です。

このような素晴らしい地域の競争力をより高め、より住みやすい地域とするため、今年度は、以下の3つの重点政策に取り組んでまいります。

◇高い技術が集積したものづくり、冷涼な気候を活かした農業など、地域の強みを活かした産業の競争力強化や人材確保・育成を進めます。

◇諏訪湖やハケ岳の豊かな自然を守り、学び、活かしていくため、地域の皆様と連携しながら2050ゼロカーボンに向けた取組や観光地域づくりを進めます。

◇新型コロナウイルス感染症対策、近年多発する自然災害への備え、住民生活を支える地域公共交通の確保などの取組を通して、安全、安心な地域づくりを進めます。

皆様方のご支援、ご協力をお願いいたします。



諏訪地域振興局長
宮原 渉

作品展のお知らせ

諏訪湖創生ビジョン推進会議事務局に作品展のお知らせが寄せられましたのでご紹介します。

諏訪湖をテーマとした作品も展示されるそうですので、ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

～絵筆を友に諏訪散歩～宮坂武芳 絵画展

期日 6月2日～7日 AM10時からPM5時まで
会場 アートプラザ108 岩谷画廊3Fギャラリー
入場無料

宮坂さんは、春陽会、信州美術会、諏訪美術会、諏訪市美術会の会員の方です。

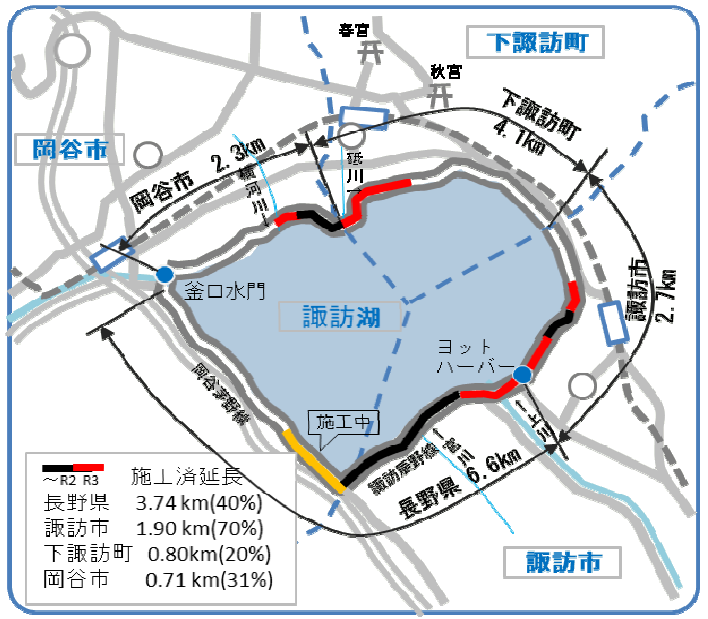


長野県及び2市1町による諏訪湖周サイクリングロードの整備が進められています

長野県は、平成28年度に岡谷市、諏訪市及び下諏訪町とともに「安全・快適」「健康・スポーツ」「観光」「環境」の四つを柱とした「諏訪湖周サイクリングロード基本計画」を策定しました。

長野県は平成30年度から、2市1町は令和元年度から整備が始まり順調に、進んでいます。

令和4年4月1日には長野県880m、岡谷市250m、諏訪市1,115m、下諏訪町500mが新たに供用開始されました。



整備された区間 令和4年4月1日現在

交差する道路がない諏訪湖周サイクリングロードは安心して走れます

諏訪湖周サイクリングロードの良いところ

- ・車との交差がほぼ無いことで安心して走ることができ、自転車の交通事故の減少につながります。
- ・自転車を利用しての観光地巡りは行動範囲が広くなり、地域の良さを発見したり観光面でも期待されています。
- ・自動車依存の低減により、健康増進・交通混雑緩和等、経済的社会的効果につながります。



岡谷市施工 あいとびあ横



下諏訪町施工 AQUA未来付近



長野県施工 原田泰治美術館横



諏訪市施工 諏訪湖間欠泉センター付近

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信48号

令和4年6月20日号 発行：諏訪湖創生ビジョン推進会議



諏訪湖創生ビジョン推進会議が開催されました。

5月27日(金)、第8回諏訪湖創生ビジョン推進会議が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により、当初3月に予定していた会議が延期され、この日、一年ぶりに対面での開催となりました。

沖野会長から、大学の講義と同じで、会議参加者は後ろの座席につく傾向があるという、緊張をほぐす話題に始まり、5年目を迎えた推進会議の活動や、ビジョンについて見直しの時期に入ったことに言及され、諏訪湖に合った姿を改善していくことが必要であること、これからの5年間は生物も昔のような状態にある程度戻るような計画にして行く必要があると挨拶が述べられました。



会議は、最初に令和3年度の活動実績の報告と令和4年度の活動計画について説明がされました。あわせて、令和3年度設置の2つのワーキンググループの活動報告が行われました。

続いて、令和3年度事業



で作成した諏訪湖創生ビジョンの紹介映像の試写会を実施しました。

また、諏訪湖創生ビジョンについては、5年ごとに施策を見直すことにしており、今年度がその年にあたることから、見直しの考え方、見直しの進め方について説明がありました。

この見直しについては、今後設置されるワーキンググループを中心に検討していくことになりました。



その後、意見交換となり、参加している構成団体の皆さんからの活動報告、諏訪湖への思い等を発言していただきました。

構成員の皆さんからは、ヒシの刈取りに関しては、刈取り船の導入、刈り取ったヒシのたい

肥化をはじめとした活用方法についての意見。諏訪湖の水深についての意見。諏訪湖のファンを増やしていきたいという意見。若い世代に諏訪湖に関わってもらふ活動への支援のお願い等が出されました。

また、6月25日(土)に開催する「スワコエイトピークストライアスロン大会」の進捗状況と交通規制について、報告がありました。

最後に進行役の高木保夫氏(諏訪湖クラブ)は、推進会議を通してお互いの活動を持ち寄ることができ、次の5年に結びつけていけば有意義ではないか、新型コロナの感染対策で様々な活動が制限される中で、各々がこの1年を、見直しも含めて発展的に活動していくことを期待して、まとめました。

改善方向に向かっている諏訪湖の水質

令和3年度の諏訪湖の水質(速報値)がまとまりました。令和2年度と比較して、目標値のうち全窒素、全りん及び透明度の値が改善されました。単年度のみで評価することはできませんが、長期的には水質は改善傾向にあり、皆さんの取組が水質改善に繋がっています。今後も「泳ぎたくなる諏訪湖」「シジミが採れる諏訪湖」を目指して、連携して諏訪湖の水質改善に取り組んでいきましょう。

単位:mg/リットル(透明度:m)

項目	R3年度速報値	R2年度	目標値(R3年度)	環境基準	
COD	75%値	5.5	5.3(5.3)	4.8	3
	(参考)年平均値	3.9	4.0(4.1)	4.4	—
全窒素	年平均値	0.62	0.65	0.65	0.6
全りん	年平均値	0.041	0.044(0.045)	現状水準(環境基準の達成)の維持	0.05
透明度	年平均値	1.2	1.1(1.0)	1.3m以上	—

CODは、有機物による汚濁の程度を示すもので、水中の汚濁物質を酸化剤によって酸化するときに消費される酸素の量です。数値が高いほど汚れが大きいことを示します。

COD75%値とは、全データを小さい方から並べたときに(データ数×0.75)番目の値をいいます。

令和2年度のカッコ内の値は、令和3年度(速報値)との比較のため、欠測の1月の値を除いて算出した数値です。

信州大学諏訪臨湖実験所 一般公開のお知らせ

1977年より諏訪湖の生態系構造の解明を目的とし、諏訪湖の定期観測を行っている信州大学の諏訪臨湖実験所の一般公開が下記のとおり開催されます。

今年は、Web開催と合わせて対面開催(要予約)でも開催されます。

諏訪湖の生物について知りたい、マイクロプラスチックとは? 諏訪湖に関する疑問・好奇心を満たす解を求めて、一般公開を訪れてみてください。

- 対面開催 7/2(土) 事前予約制 [こちらから](#)→
- Web開催 7/2(土)~7/31(日)



問い合わせ

信州大学 理学部 湖沼高地教育研究センター
諏訪臨湖実験所(諏訪市湖岸通り5-2-4)

センターHP

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/science/inlanwater>
※新型コロナウイルス感染症の感染状況により開催方法が変更となる場合もあります。

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたい諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局：諏訪地域振興局企画振興課 TEL：0266-57-2901



諏訪湖通信49号

令和4年7月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



第1回スワコエイトピークストライアスロン大会が開催されました!

諏訪湖を出発し、八ヶ岳に抱かれながら遠く富士山が望める好天のもと、6月25日(土)に「スワコエイトピークストライアスロン大会」が開催されました。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大によりやむなく延期をいたしました。今年第1回大会を無事開催することができました。地元の皆様、諏訪湖創生ビジョン推進会議メンバー、関係団体のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。



大会当日は、アスリート753名が諏訪地域6市町村を舞台にスイム2km、バイク78km、ラン20km、トータル100kmを駆け抜けるダイナミックなレースとなりました。

スタート会場の下諏訪アクア未来では、消防ラッパ隊のファンファーレに続く号砲で、往復1kmのスイムコースを2周しました。子供連れのお母さんは「諏訪湖って泳げるんですね」、ご年配のご夫婦からは「子供の頃、よく諏訪湖で泳ぎましたよ」など、驚きや感動の声を多数いただきました。観戦している方の中には、感動して涙ぐむ方もいらっしゃいました。



アスリートは、赤砂崎公園からバイクに乗り換え、諏訪湖を半周し上川通勤バイパスから、茅野市、富士見町、原村の山麓方面へ。エコーラインでも多くの応援があり、農作業の手を止めエールを送ってくださる方もいらっしゃいました。フィニッシュ会場の諏訪湖イベント広場では、「これほど地元の人が声援してくれる大会は他にはない」「暖かい応援が何より励みとなった」など、アスリートから、たくさんの感動のメッセージをいただきました。

大会後、多くのアスリートが、SNSなどを使用して、地元の声援についても発信しています。

最初の大会で、至らぬ点も多く、改善をしていく必要があると思います。今後は、何よりも地元の人に愛される大会を目標に努力を積み重ねていきたいと思っております。



そして、この大会を通じ、私たちの大切な財産である諏訪湖をはじめとした豊かな自然を次世代に繋げる取り組みを続けなくてはならないと思っています。私たちの取り組みはまだ、スタート位置にいたばかりです。

引き続き、皆様のご協力、ご理解をよろしく申し上げます。諏訪湖・八ヶ岳山麓トライアスロン大会実行委員会

リアルタイムモニタリング装置を用いた諏訪湖の水質観測 信州大学諏訪臨湖実験所

近年、諏訪湖では夏季の透明度は向上しましたが、底層の溶存酸素濃度(DO)が低下し、水生生物の生息環境の悪化が懸念され、底層DOなどの水質の詳細な把握が必要とされています。信州大学では諏訪湖の定期観測を1977年から実施しています。それに加え、2018年からは諏訪湖において水温・DO・濁度のリアルタイムモニタリングを開始し、直近の水環境の変化の解釈や予測が可能となりました。また、2021年には、信州大学初の学術クラウドファンディングにより新たなモニタリング装置「すわこウオッチ」を作製し、これまでの測定項目に風量、クロロフィルとフィコシアニンの項目を加えて諏訪湖での観測を開始しました。



観測地点



観測装置(湖心)

データは下記HPで見ることができます。
(<https://sss50.harmonia-cloud.com/>)

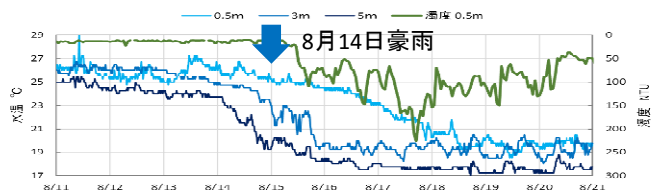


諏訪湖(湖心)の濁度と透明度の観測結果

昨年の諏訪湖の濁度と透明度の推移をみると、6月の下旬までは比較的濁度が低くその後増加する傾向にあります。8月14日に濁度の上昇がみられますが、これは豪雨による影響です。今年6月25日(土)に諏訪湖で開催されたトライアスロンの日のデータを見てみると、水温は21度、濁度11で、比較的良好であったことが分かります。

令和3年8月14日の豪雨による流入量の増加と諏訪湖の水質への影響

さて、前線の停滞により昨年8月12日23時から降り始めた雨は、15日の14時まで降り続けました。この時の24時間雨量201.5mmは諏訪湖候所観測史上2位でした。特に、15日3時から4時までの1時間雨量は46mmと激しく、JR川岸駅の近くで起きた土石流は、民家に流れ込み、3名の方が亡くなる惨事となりました。この時の諏訪湖水温と濁度の観測値を見ると、上川から水温の低い水が諏訪湖に流れ込み、水深の深いところから水温が低下し、濁度も増大していたことが分かります。釜口水門からの放流量を積算すると、8月13日から15日の3日間で諏訪湖の貯水量の約90%、16日までの4日間では貯水量の140%に相当する湖水が水門から放流されていたこととなります。



2021年夏の諏訪湖の濁度と水温の推移(湖心)

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信50号

令和4年8月22日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



発行50号を迎えて

諏訪湖創生ビジョン推進会議が発足して早くも5年の歳月が過ぎました。20年先を目指しての諏訪湖創生に取り組むを中心とする地域計画ですが、5年ごとに施策の見直しを行うことになっています。今年がその第1回目の見直しの年となります。

最初の5年間で一定の成果はあったものの、残されている課題もあり、ビジョン達成への道程としては大切な節目の年となります。

諏訪湖創生ビジョン全体計画だけでなく、これを機会にそれぞれの団体でも活動の点検、評価、見直しを行い、諏訪湖創生ビジョンの目標達成に向けて意識を新たにすることができれば有難く思います。

最初の5年間はそれぞれの加盟団体の活動をそれぞれに行うケースが主体でしたが、これから先は加盟団体の横の連携が大事になります。特に、長野県及び各市町村での活動を主体とする計画にも出来るだけ地域住民の計画段階での参加を期待したいところです。



この諏訪湖通信の発行、諏訪湖の日の企画など、公民協働を模索しながら行われてきましたが、加盟団体それぞれの活動を紹介し、それぞれの活動を横につなげる役割

をしっかりと果たしていきたいと考えています。多くの地域住民からの情報を含めて地域に情報を発信する場としての役割を果たし、諏訪湖創生ビジョンをより良いゴールに導く案内板としての役割を担えるように改善していければと期待しています。皆さまの参加、さらなるご協力をお願いします。

諏訪湖創生ビジョン改定(施策の見直し)について



諏訪湖創生ビジョンの改定について検討するため、諏訪湖創生ビジョン推進会議にワーキンググループを設置しました。

その第1回の会議が令和4年7月26日に開催されました。

今回のワーキンググループでは、現在策定作業が進められている第8期諏訪湖水質保全計画の骨子、諏訪湖創生ビジョンのこの5年間の取組結果等の説明の後、意見交換が行われました。

構成員の皆さんからは、ヒシの刈取りや浚渫に関して様々な意見が出されました。今後、第8期諏訪湖水質保全計画の策定作業に合わせて、諏訪湖創生ビジョンについても、施策の見直しを進めていきたいと思ひます。

第41回諏訪湖クリーン祭「諏訪湖クリーン大作戦」



下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会(湖浄連)では、8月11日に第41回諏訪湖クリーン祭「諏訪湖クリーン大作戦」を行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため例年とは違う形で清掃をメインとした形で実施しました。今回は赤砂崎公園からみずべ公園、博物館からみずべ公園の2会場で清掃を行いました。

約300人の方にご参加いただき、一生懸命に水辺のごみを拾っていただいたので、可燃物160kg、不燃物60kgと、回収量も多めでした。合わせてごみ調査も実施し、諏訪湖にどんなごみが落ちているのかお分かり頂けたかと思ひます。

清掃を行った後にみずべ公園でパネル展示、記念品の交換を行いました。記念品の中には豪華景品として下諏訪町のプレミアム商品券と引き換えができる当たり券も入っていました。今回のこのイベントを通して皆さんが諏訪湖浄化へ関心を持ってくれると大変うれしく思ひます。



湖浄連は月に一度湖岸清掃を行っているのですが今回に限らず今後も参加していただければ幸いです。

引き続き、皆さんのご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

(下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会)

ヒシ刈取りを行いました。

諏訪湖創生ビジョン推進会議では、湖岸域の貧酸素化や枯死による底質環境の悪化、船の運航障害、景観の悪化等の問題を生じさせるヒシの大量繁茂の対策として、官民協働で手作業によるヒシの除去作業を行っています。

令和4年度は7月7日～9日の3日間、諏訪市セーリング協会の皆様のご協力をいただき、初島周辺で刈取作業を行いました。延べ110名の皆様のご参加により、計8トンのヒシを刈取りました。

最終日の7月9日は、ヒシの刈取に先立ち、水草の学習会と稚エビの放流体験を行いました。土曜日ということもあり、家族連れやお子さんにもご参加いただきました。

今後も、ヒシの大量繁茂対策や、諏訪湖について知るための学習活動を推進していきます。



稚エビの放流体験

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信51号

令和4年9月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



令和4年度「諏訪湖の日」プロジェクト

10月1日は、「諏訪湖の日」。今年もこの9月から10月にかけて開催される諏訪湖に関係するイベントを「諏訪湖の日プロジェクト」として情報発信を行っています。

今年度、諏訪湖の日プロジェクトとして予定されている企画は、21件(9月20日現在)。下記の一覧のとおりです。

既に終了されている企画もありますが、まだまだこれから多くのイベントが開催されます。

参加にあたっては、新型コロナウイルス感染症の対策を十分に行うとともに、主催者のホームページ等で開催状況の確認をお願いします。

また、諏訪湖創生ビジョン推進会議主催で、下記のイベントを開催します。ぜひご視聴ください。

「2022 諏訪湖の日フォーラム」

今年は、「諏訪湖の日」の制定のきっかけとなった諏訪湖流域下水道と諏訪湖の関わりについて学びます。

「下水道の力で諏訪湖をキレイに」

○日 時 10月1日(日) 13:30~15:00

○開催方法 YouTubeによるライブ配信

○内 容 ・諏訪市立四賀小学校での出前授業

「うち君の旅～水の再生ものがたり～」

・諏訪湖流域下水道について

右のQRコードからアクセス

<https://youtu.be/gEIVghxRhMs>



R4「諏訪湖の日プロジェクト」

期日	イベント名	主催者
9/1~10/31	令和4年度諏訪湖DEウォーク	諏訪市
9/1~10/31	諏訪湖一周サイクリング部【スイッチ】	一般社団法人諏訪観光協会、岡谷市観光協会、下諏訪観光協会
9/4	湖岸清掃	下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会
9/4	諏訪湖清掃	諏訪市立上諏訪中学校
9/4	第41回下諏訪レガッタ	NPO法人下諏訪町スポーツ協会漕艇部・下諏訪町漕艇協会
9/10~9/24	諏訪湖まじゅう芸術祭2022	諏訪湖まじゅう芸術祭実行委員会
9/18	諏訪湖畔清掃事業	諏訪市老人クラブ連合会
9/19,10/10	諏訪湖ヒン取り、湖岸清掃、カヌーで巡る諏訪の水路	諏訪湖ライオンズクラブ 諏訪湖ライオンズクラブ諏訪和支部
9/21,10/12	諏訪湖清掃(諏訪湖アダプトプログラム)	中部電力パワーグリッド株式会社諏訪営業所
9/29	諏訪湖の魅力をたずねる	諏訪湖の魅力をたずねる会
10/1	諏訪湖まるまるゴミ調査	諏訪湖創生ビジョン推進会議
10/1	「諏訪湖の日フォーラム」	諏訪湖創生ビジョン推進会議
10/1	太陽工業×SDGs=諏訪湖の日	太陽工業株式会社
10/2	漕いで知ろう・諏訪湖!	諏訪湖周水路復活清きあるきプロジェクト NPO法人絆JAPAN
10/16	諏訪湖周一斉清掃	岡谷市
10/16	諏訪湖浮遊ゴミ回収作業	諏訪市
10/16	秋の全市一斉清掃	諏訪市・諏訪市衛生自治連合会
10/16	秋季一斉清掃	下諏訪町
10/21,22	SUWA×文楽	一般社団法人大昔調査会
10/23	第34回諏訪湖マラソン大会	諏訪湖マラソン大会事務局
11/3	諏訪湖畔花いっぱい事業	諏訪市老人クラブ連合会

「諏訪湖の日」ホームページもご覧ください。

2年ぶりの下諏訪レガッタ

昨年の第40回メモリアルレガッタは新型コロナにより中止となりました。今年は、諏訪地域は御柱年ということもあり、例年より一週間早めての大会開催となりました。

参加クルーやスタッフは、練習開始から大会当日まで感染予防を徹底し準備を進めてまいりました。

9月4日は、前日の大雨とは一変、好天に恵まれ第41回下諏訪レガッタが予定どおり無事開催できました。

昨年、諏訪湖でオリンピック事前合宿を実施したアルゼンチンとイタリアの両国からカップとTシャツをいただき、レガッタに活用させていただきました。

諏訪湖があり、ローイングパークが整備され、整った環境でボート競技ができることに感謝です。

(下諏訪町漕艇協会)



諏訪湖創生ビジョン改定(施策の見直し)ワーキンググループ

諏訪湖創生ビジョンの改定(施策の見直し)について検討するため、諏訪湖創生ビジョン推進会議に設置されたワーキンググループの第2回会議が令和4年9月6日に開催されました。



今回のワーキンググループでは、現在作成中の「第8期諏訪湖水質保全計画(素案)」について県担当課による説明と質疑を行いました。また、諏訪湖の水質改善効果(ヒンの刈取り、覆砂)について、議論しました。

ヒンの刈取りについては、刈取りの時期を早めてはという意見、景観保全の視点で刈取り面積の拡張を提案してはという意見、ご自身の諏訪湖での活動を踏まえ、より多くの住民が参加できることを考えることも必要といった意見が出されました。

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたい諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信52号

令和4年10月20日号 発行：諏訪湖創生ビジョン推進会議



2022 諏訪湖の日フォーラム

10月1日は、「諏訪湖の日」、今年も多くの皆さんに理解を深めてもらうための企画として、「諏訪湖の日フォーラム」を開催しました。

今年も新型コロナウイルス感染症を考慮して、Youtubeによるオンラインイベントでの開催としました。

今回は、「下水道の力で諏訪湖をキレイに」をテーマとし、諏訪湖の浄化に大きな役割を果たしている諏訪湖流域下水道をメインに、下水道の視点から諏訪湖を考える企画としました。



司会は、昨年に引き続き軽妙なトークのLCV小池喜則さん。

そしてアシスタントには、なんと！AKB48、チーム8のさやりんこと、高橋彩香さんに務めてもらいました。

パネラーはうんち君博士こと下水道広報プラットフォーム

(GKP)の栗原秀人さん、元長野日報記者の宮坂早苗さん、諏訪湖クラブ沖野会長、高木保夫さん、諏訪湖流域下水道事務所平澤管理課長の皆さんに務めてもらいました。



出前授業の様子



第一部では、「諏訪湖を知ろう」とし、諏訪湖の日制定の経過、諏訪湖の今昔などを語ってもらいました。

第二部では、諏訪湖浄化に寄与した下水道の力を学びました。

最初に9月16日、諏訪市立四賀小学校4年生の皆さんに行った、出前授業「うんち君の旅～水の再生ものがたり～」の様子を放映しました。

あわせて、出前授業の感想文の中から2名の方を「うんち君の旅をよく理解できたで賞」に選出し、発表と表彰を行いました。この後、うんち君博士による大人向けのミニ授業、諏訪湖流域下水道に関するQ&Aコーナーへと続きました。



熱く語るうんち君博士(左から2番目)



みんなで、よいさー

Youtube「諏訪湖の日フォーラム」はこちらから



第3回諏訪湖まるまるゴミ調査

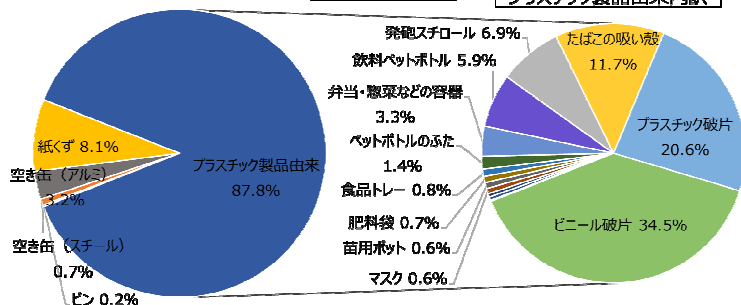
10月1日(土)に第3回諏訪湖まるまるゴミ調査を行いました。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となりましたが、本年度は参加者の一般公募を行わず、諏訪湖創生ビジョン推進会議「ごみの無い諏訪湖」ワーキンググループ及び行政機関により実施しました。参加者32名が諏訪湖周辺の5会場に集まり、飲料ペットボトル、ビニール破片、マスク等の18種類に分類し、その個数を調査しました。



ごみの回収量は、可燃ごみが110kg、不燃ごみが120kgとなり、個数は全部で1,555個、そのうちプラスチック製品由来のごみは1,366個で、小さなビニール破片、プラスチック破片が半数以上を占めました。

諏訪湖周全域

プラスチック製品由来内訳



調査後のふりかえりの中では、「ビニール破片、プラスチック破片が非常に多かった。」「湖岸(波打際)にごみが多い傾向がある。」といったご意見がある一方で、「思ったよりもごみが少ない。」といった、地域の皆様の日ごろのご尽力や意識の変容をうかがわせるようなご意見もありました。調査は今後も引き続き実施していく予定です。なお、調査結果の詳細は近日公表予定です。



諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。事務局：諏訪地域振興局企画振興課 TEL：0266-57-2901



諏訪湖通信53号

令和4年11月21日号 発行:諏訪湖創生ビジョン推進会議



諏訪湖ライオンズクラブメインアクティビティ例会 諏訪湖創生ビジョン協力

「人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現に向けた「諏訪湖創生ビジョン」が2018年に策定され、諏訪湖ライオンズクラブでは、この諏訪湖創生への思いを共有し、例年清掃活動を行っています。

本年度も諏訪湖美化活動を中心に据え、10月10日(日・祝)メインアクティビティ例会として、諏訪湖畔のゴミ拾いや、ボートやカヤックに乗船しての湖上のゴミ収集を行いました。

当日は、クラブ会員のほかに、長野県諏訪地域振興局や諏訪商工会議所、諏訪二葉高校生、諏訪清陵高校OBの約60名が参加しました。

活動には、NPO法人諏訪市セーリング協会と諏訪湖カヤックにも協力いただき、SUWAガラスの里から石彫公園までの湖岸やジョギングロードのゴミ拾いや、ボートでの初島周辺のゴミ収集、カヤックでの湖岸や中門川に浮かぶゴミ拾いも行いました。

初めて参加した高校生は、中門川に布団や服、アウトドア用品が捨てられていることに驚き、心を痛めておりました。

「大人が捨てたゴミを高校生のボくらが拾うなんて…」そんなつぶやきも聞こえました。

約2時間の活動で、ボートとカヤックの湖上ゴミ700リットル、徒歩での湖周ゴミ100リットルを回収しました。

太古の昔から、諏訪湖は人々の暮らしと密接な繋がりのある存在であり、その恩恵を受けながら暮らしが営まれてきた歴史がある湖。今後も美化活動を通じて、美しい環境を未来へ引き継いでいきたいと思ひます。



カヤックによるゴミ拾い



集まったごみを前に参加者の皆さん

諏訪湖創生ビジョン改定(施策の見直し) ワーキンググループ

諏訪湖創生ビジョンの改定(施策の見直し)について検討するため、諏訪湖創生ビジョン推進会議に設置されたワーキンググループの第3回会議が10月31日に開催されました。

今回のワーキンググループでは、第8期諏訪湖水質保全計画に対して行われたパブリックコメントの結果についての説明、諏訪湖創生ビジョン推進会議の構成員を対象としたアンケートの途中経過の報告がされました。今回の改定(施策の見直し)のテーマの一つである、湖辺面活用・まちづくりについて、各団体の取組状況、今後の展開等を説明していただき、協議等を行いました。その中では、水浴場等の整備に関し、下諏訪町から赤砂崎で整備をしたいという提案がされました。

「中部のいい川ワークショップin天竜川流域」 に参加しました

11月12日(土)宮田村で開催された中部流域連携ネットワーク主催の「中部のいい川ワークショップin天竜川流域」に参加しました。

中部5県(愛知県、三重県、岐阜県、静岡県、長野県)で河川に関わる取り組みをしている様々な団体が一堂に集まり、その活動内容を発表し、多くの人に河川の現状や活動を知っていただき、交流することで連携を深めようと開催されました。



「中部流域連携ネットワークのフラッグ」

活動発表団体は14団体。諏訪湖創生ビジョン推進会議、推進会議の構成員でもあるNPO法人天竜川ゆめ会議(福澤代表理事が今回の実行委員長でした。)と下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会(湖浄連)、他にも伊那建設事務所、天竜川上流河川事務所、矢作川流域圏懇談会、22世紀奈佐の浜プロジェクト、名古屋大学など行政から民間団体と多岐にわたり、発表時間も3分という限られた時間の中でしたが興味深い発表を聞くことができました。ただし、発表は、3分を超えると黒メガネと黒マスクの方に強制的に連れ去られて終了となります。

休憩をはさんでの後半は、国土交通省中部地方整備局と参加各県の建設担当部局の河川担当課長等によるパネルディスカッションが行なわれました。国、各県の河川行政の取り組みを丁寧に、わかりやすく話していただきました。

今回、第1回目の開催でしたが、参加した方、それぞれの立場から河川(湖、海)への想いが伝わるワークショップでした。



湖浄連の発表



推進会議の発表

この後、連れ去られてしまいました!



パネルディスカッションに臨むパネラーの皆さん

諏訪湖創生ビジョン改定に向けての地域懇談会 を開催します

諏訪湖創生ビジョンの改定(施策の見直し)作業中ですが、この度、諏訪湖創生ビジョン推進会議の構成員の皆さんや地域住民の皆さんと意見交換を行う地域懇談会を下記のとおり開催します。

日時 令和4年11月28日(月) 午前9:30~午前11:30

会場 諏訪合同庁舎5階講堂

詳細は、下記のプレスリリースをご覧ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/suwachi/suwachi-somu/pressreleases/04press.html>

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局:諏訪地域振興局企画振興課 TEL:0266-57-2901



諏訪湖通信54号

令和4年12月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



諏訪湖創生ビジョン改定(施策の見直し)に係る地域懇談会が開催されました。

平成30年に策定した諏訪湖創生ビジョンについては、概ね5年ごとに、情勢の変化等に合わせて施策を見直すこととしています。

今年度その5年目にあたることから、推進会議ではワーキンググループを設置し検討を行っています。

今回の検討の一環として、広く諏訪地域の住民の皆さんから意見を聴くため、11月28日(月)に諏訪合同庁舎講堂で「諏訪湖創生ビジョン改定(施策の見直し)に係る地域懇談会」が開催されました。

月曜日の午前中という時間帯でしたが、多くの皆さんにお越しいただき、諏訪湖への想いを発言していただく場となりました。



「リモートで参加中の阿部知事」

懇談会は、知事と推進会議の沖野会長のあいさつに続き、諏訪湖創生ビジョンを紹介する動画を最初に見ていただきました。

その後、「ヒシの大量繁茂対策について」「水生動植物の管理について」「水辺整備と湖辺面の活用について」の3つのテーマに分けて、意見交換を行いました。

ヒシの関係では、生態系や環境面で刈取りが必要という意見、刈取りによりアオコが増加するという意見、処分方法に関する意見、刈取りに関して小型船を購入して民間支援をといった意見が出されました。

続いての水生動植物の管理では、漁業だけの問題ではなく諏訪湖の生態系をどういう形で復活させるかという意見、実際の漁獲量減少への対策として魚の放流事業や漁獲制限を行うべきといった意見が出されました。

3つ目は、最初のテーマとリンクし、浚渫について議論がされました。諏訪湖の水深が浅くなっていくことへの対策やヒシの繁茂対策としての浚渫が必要といった意見が出る一方、浚渫による生態系への影響を懸念する意見も出されました。

諏訪湖に対する想いがあふれる多様な意見が出された懇談会となりました。

この想いを込めながら引き続き改定作業を進めていきたいと思えます。



「地域懇談会の会場の様子」

県民参加型予算(試行)(提案型)の審査会が開催されました。



「審査会の様子」

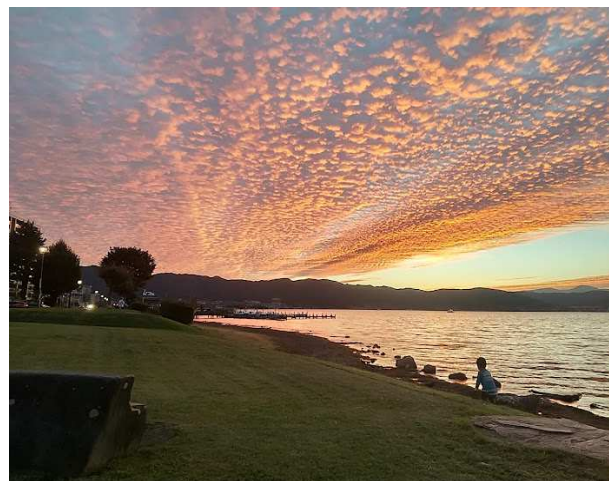
県民の皆様の新たな発想や問題意識を取り入れ、県政をより身近なものとするため、県民参加型予算(提案・選定型)が、今年度諏訪地域振興局を含む3つの地域振興局で試行されています。

諏訪地域振興局の募集テーマ『"諏訪の湖には魚多し" 復活プロジェクト(昭和40年代の湖内環境の復活)』には、10件の応募があり、対象となる8件について、12月13日(火)に審査会が行われました。

提案内容は、魚礁設置による諏訪湖の生物の生息場所確保に関するもの、ヒシ取りに関するもの、民間団体と行政協働による浚渫の調査・検討に関するもの、など多岐にわたるものでした。当日は、提案者が諏訪湖に対する思いとともに事業内容を説明していただき、県政モニターの皆さんからそれぞれの提案内容に質問が出され、熱心な審査会となりました。

今回提案いただいた事業の中から、今後予算案に計上する予定の事業を取りまとめることとなります。

10月中旬の夕方の諏訪湖畔、見上げると空一面に広がったヒツジ雲



「石彫公園から日の入りした方向を望む」

「散歩しながら諏訪湖に学ぶ」ではありませんが、孫を連れて諏訪湖畔を散歩していたところ上空がうろこ雲の大群に覆われている光景に目を奪われました。10月11日の午後5時30分頃の映像です。

羊雲とかいわし雲とか言われていますが。ネットで調べると、気象学的には、羊雲は高積雲(こうせきうん)高さ2,500メートルで、うろこ雲は巻積雲(けんせきうん)で5,000メートルくらいにできるようです。

この日に見た雲は羊雲だったようですが、天気が崩れる前兆だそうです。

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



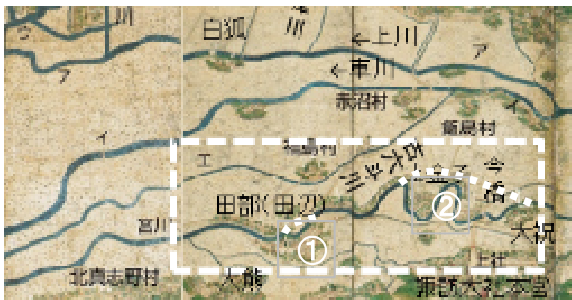
諏訪湖通信55号

令和5年1月20日発行：諏訪湖創生ビジョン推進会議



諏訪湖に流入する第二の川、宮川の歴史

宮川の水源は、釜無川との分水嶺に近い入笠山及び八ヶ岳連峰にあり、延長22.8km、流域面積98km²と諏訪湖流域の18%を占め、上川に次ぐ2番目の河川です。江戸時代の記述を見ると上流部においてはほとんど屈曲もなく、谷を直流し、平野部に出ると川幅は狭く、屈曲が激しいため洪水時は必ず氾濫が起きました。諏訪湖に流入する河口では、深さ60cm川幅は16.4mとあります。(明治9年作成湖南村史より)



蛇行する宮川 破線枠内は直線化工事実施箇所

◆宮川屈曲部二カ所の直線化工事(田辺村～上金子村)

大祝諏方頼廣は天正(1573-1593年)の頃、前宮の居を本宮に近い宮田渡に移しましたが、この大祝付近は明和9年(1772年)に浸水など度々水害が発生しました。治水に力を入れていた高島藩は、宮川の下流域の屈曲部の直線化工事を地元の各村に割り付けを行い、享和3年(1803年)に工事を始めました。文化2年(1804年)に金子城があった延長270m(①)が、大宮橋～どどん橋までの約1,000m区間(②)は文化4年(1806年)に直線化する工事が完成しました。これにより宮川は破堤などの災害の減少に繋がりましたが、地元上金子村は、住居と水田が分断され、生活が不便になってしまいました。



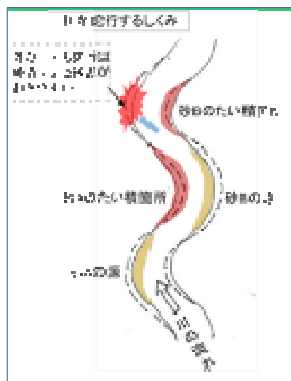
②直線化工事区間 旧宮川



旧宮川の河川敷を利用した田辺堰と散策路 大祝付近

◆川の屈曲(蛇行)の仕組み

護岸がなく、自然の土はであったころは、流れが特にゆるやかな下流では、緩やかな曲線となり、流れは岸の一方に当たってその部分をけずり、次には反対側の岸をけずります。また、流れがかわるときの内側の岸は、いつも流れの速さがおそいので、運ばれてきた土砂がたい積します。このようなことがくり返される結果、川の曲がりかたはますますひどくなり、川の流路がへびのうねった姿のようになります(蛇行)。



河川が蛇行する仕組み

5年ぶりの諏訪湖御渡りを期待して早朝の諏訪湖湖面の観察が始まる

1月6日の早朝、諏訪湖畔で、諏訪湖の「御神渡り」の観察が始まりました。この日の朝の気温は氷点下8度と身に染みるような寒さで、体の芯から冷えてしまいそうな朝でした。しかしながら、関係者の計測によれば、水温は2度。水の中のほうが気温より高い状況でした。



「観察の様子」

報道陣をはじめとして、多くの方が訪れ、御神渡りの観察について、熱いまなざしを送っていました。

この日の氷の厚さは、4mm。全面結氷とはいかずに、波を打っているところもありましたが、5年ぶりの御神渡りが見られることを期待しての、観察開始となりました。

立春までの間に見ることができるとを期待しましょう。



「透き通ったこの日の氷」



「この日の諏訪湖」

諏訪湖映像のライブ配信 2月28日まで試験的に実施

諏訪湖が結氷した際の観光客の安全対策と、県内外の方に広く諏訪湖の様子を見ていただくことを目的として、諏訪湖の様子をインターネットで配信を予定しています。今回は、企業様の協力を得て、2月28日まで試験的にいきます。



ホームページ掲載画像

映像は、長野県諏訪地域振興局ホームページの「諏訪湖の御神渡り」ページの画像からYoutubeへ移動してご覧いただくことができます。

ライブ配信はこのQRコードから



高感度のカメラで、日中はもとより、早朝や夕方、夜間も美しい諏訪湖の様子を見ることができます。

遠方からも、諏訪湖の結氷の様子や雄大な景色をご観賞いただけます。

ぜひご利用ください。

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。事務局：諏訪地域振興局企画振興課 TEL：0266-57-2901



諏訪湖通信56号

令和5年2月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



諏訪湖創生ビジョン改定(施策の見直し)(案)について

① 「諏訪湖創生ビジョン改定(施策の見直し)ワーキンググループ」

第4回ワーキンググループが令和5年1月25日(水)に開催されました。今回のワーキンググループでは、これまでの検討内容や令和4年11月28日(月)に諏訪合同庁舎で開催されました地域懇談会でのご意見を踏まえ、諏訪湖創生ビジョン改定(施策の見直し)の素案を提示しました。



ヒシの刈取りの進め方、調査研究から事業への移行の時期や、設置が予定されている諏訪湖環境研究センター(仮称)の事業内容を明確に記載しては、といった質問・意見が出されました。

② 「諏訪湖創生ビジョン改定に向けた地域懇談会」

令和5年2月6日(月)に伊那合同庁舎を会場に、天竜川流域の環境保護団体等の皆さんを対象に、地域懇談会を開催しました。

当日は、諏訪湖創生ビジョンの紹介動画を見ていただき、改定(施策の見直し)について方向性や上記のワーキンググループで示した(案)を説明しました。



参加者からは、マイクロプラスチックごみへの対応や、泳げるようになることで観光客が増加し、ごみの問題が増大するのではないか、といった意見が出されました。

③ 「諏訪湖創生ビジョン改定(施策の見直し)(案)のパブリックコメント」について

諏訪湖創生ビジョン改定(施策の見直し)について、令和5年2月8日(水)よりパブリックコメントを開始しました。(令和5年3月9日(木)まで)

これまでのワーキンググループでの議論や地域懇談会でのご意見を踏まえ、改定(施策の見直し)(案)を下記のホームページで公表しています。ぜひご覧ください。

https://www.pref.nagano.lg.jp/suwachi/suwachi-kikaku/vision/pabcomme_r5.html

諏訪湖創生ビジョン改定(施策の見直し)について

課題	継続する取組	改善に向けた新たな方向性	目指す姿
水質改善 ・底層水域における湖底堆積物の攪拌 ・湖底の富栄養化	水質測定 ・湖内の湖底堆積物濃度測定等	水質向上	・水質指標:COD(75%値) 5.0 → 4.7 (R24年度: 4.824年度)
ヒシ大量繁茂 ・湖底の浄化 ・湖底堆積物の除去 ・水質浄化の促進等	ヒシ除去 ・水質浄化促進によるヒシ除去 年間510t	ヒシ除去量の増加	・5年後までに ヒシ除去量を約増 4.7倍(1.00t → 4.97t)
浸漚 ・浸漚への対応 ・湖底堆積物等の除去 ・湖底浄化の促進	治水浸漚 ・流入河川河口部における 堆積土砂の除去	利水・生態系を 目的とした浸漚	・「諏訪湖」の存続 ・浸漚による多面的効果 (治水・利水・環境)
生態系保全 ・湖底堆積物の除去 ・湖底浄化の促進等	生態系保全 ・水生動物の管理・調査	生態系回復	・持続可能な湖底浄化への 回復(仮)15年後 ・科学的アプローチからの湖底 浄化の見える化(生態系や湖 底浄化)

改定(施策の見直し)の方向性(ワーキンググループ、地域懇談会資料)

令和4年度諏訪湖流域資源循環普及事業

諏訪湖のヒシを刈り取って堆肥化し、地元小中学校等で利用する事業を令和3年度から実施しています。本年度も諏訪管内47の小中学校、養護学校に堆肥を配布しました。令和5年1月26日(木)及び2月3日(金)には、小中学校を代表して、諏訪市立上諏訪中学校、諏訪市立上諏訪小学校でヒシ堆肥の贈呈式を行いました。

また、ヒシの刈取りにより諏訪湖の水質改善につながることも、堆肥化とその活用による流域内の資源循環により二酸化炭素や化学肥料を減らせることを説明しました。児童、生徒の皆様には、学校の畑、花壇等で堆肥を利用する体験を通して、諏訪地域の環境保全や資源の地域循環について学んでいただきたいと思います。

さらに、諏訪地域における環境イベント等でもヒシ堆肥を配布し、地域住民の皆様にも環境保全や資源の地域循環に関心を持っていただくことができました。

本事業は令和5年度も実施する予定です。

引き続き皆様にヒシ堆肥をご利用いただくとともに、諏訪湖の環境改善に向けた地域での活動にも、ぜひご参加いただければと思います。



御神渡り 「明けの海」を宣言!

先月号でも報告していましたが、御神渡りですが、令和5年2月4日(土)八剱神社の宮坂清宮司より「明けの海」が宣言されました。

観察開始から全面結氷した日もありましたが、残念ながら今年も見ることができませんでした。

関係者の皆さんの他にも、多くの方が訪れており、中には差し入れを用意してくださる方や、関係者の皆さんに労いの花束を用意される方などもいらっしゃいました。御神渡りの観察を通じて諏訪湖に集う神社関係者、報道関係者、観覧者の間に、心地よい連帯感が見られた期間でした。

来年こそは、御神渡りが拝観できることを願っています。



観察の様子



「明けの海」の諏訪湖の様子

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信57号

令和5年3月27日発行：諏訪湖創生ビジョン推進会議



諏訪湖のワカサギについて

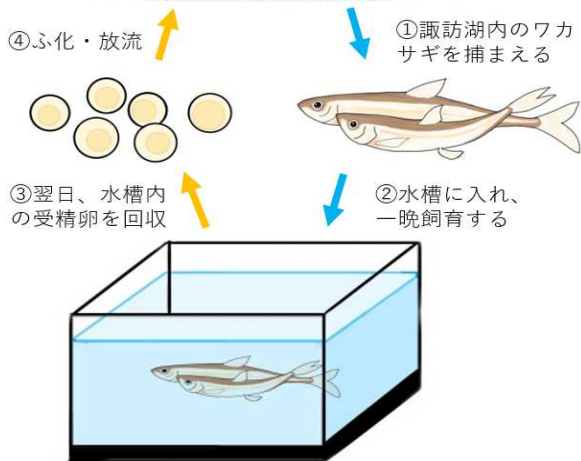
ワカサギは諏訪湖を代表する魚として、漁業はもちろんのこと観光分野においても重要な魚です。しかし今、そのワカサギが大きな危機に直面しています。諏訪湖漁協は産卵期に河川へ遡上してきたワカサギを捕まえて、卵を搾って人工授精させています。県水産試験場の調査によると、平成28年の大量死以降、諏訪湖のワカサギの生息数や遡上が不安定となり、ここ数年は採卵量も大幅に減り、卵出荷も難しくなっています。

そこで、諏訪地域振興局では令和3年度から、安定してワカサギの採卵を行うため、諏訪湖漁協の協力のもと産卵前のワカサギの生息状況調査を実施しています。この調査により、産卵前のワカサギが諏訪湖のどこにいるのか、成熟はどのくらい進んでいるのかを明らかにしています。

また、県水産試験場諏訪支場では令和4年度から新たな採卵モデルの開発を行っています。諏訪湖内にいる産卵直前のワカサギを定置網で捕まえて、水槽に入れて自然産卵させ受精卵を得ます。先述した生息状況調査の結果を参考に、定置網の設置場所や時期の検討を行っています。この方法では、諏訪湖内でワカサギを捕まえるので、遡上のあるなしに関わらず親魚を確保することができます。

試験場での研究と並行して、諏訪湖漁協では実証に取り組み、ワカサギの安定化をいち早く目指しています。

採卵の概要



諏訪湖創生ビジョン改定（施策の見直し）（案）が決定しました。

諏訪湖創生ビジョン策定から5年目を迎え、改定（施策の見直し）をこの1年間検討してきましたが、3月23日に開催しました諏訪湖創生ビジョン推進会議で事務局原案を討議、原案通り決定しました。詳細については、次号でお知らせします。

引き続き、ビジョンの実現に向けて取組を進めて行きましょう！

静岡大学付属浜松中学校生徒が「しなの体験学習」と銘打って諏訪湖に来てくれました。

静岡県浜松市にある静岡大学付属浜松中学校では、昨年の6月に引き続き「しなの体験学習」と銘打って、松本市や、諏訪市内の施設見学や住民団体の活動状況についてインタビューしました。生徒たちは自分たちで、地元環境活動グループへのインタビュー等の計画を立て、テーマに沿った調査・見学・体験活動を行っています。その中の一部のグループが「諏訪湖クラブを含めて地域住民による諏訪湖の浄化に関する取り組み」について諏訪市（諏訪湖）を訪れてくれました。

日時：令和5年2月28日 9時30分～

場所：諏訪市中央公民館会議室

参加：男子生徒4人、女子生徒7人計11人です。

事前に質問を頂いていたので沖野会長からその回答を、諏訪湖の浄化の取組については会員から説明をしました。生徒たちからは平成19年（2007年）から諏訪湖クラブの取組が続いていることに対する質問が多く出されました。

子どもの頃からの自然との触れ合いなどが原動力になっているのではと説明しました。

参加された生徒さんは皆しっかりとした意見を持っていて、将来を担ってくれそうです。



意見交換会の様子

■浜松市佐鳴湖の水質改善の取り組み

浜松市には浜名湖に水路でつながる佐鳴湖という小湖があります。（図参照）。一時期アオコの発生で我が国のワーストワンの評価をうけた時期がありました。当時、沖野会長が浜松市と国際ソロプチミスト浜松から呼ばれて諏訪湖の事例を紹介し、対策について懇談しました。うれしいことに現在ではアオコも少なくなり、シジミの復活も進んでいると聞いています。



天竜川と佐鳴湖

■諏訪大社との繋がりが

浜松市は天竜川の河口に位置し、諏訪湖や諏訪大社との縁があります。浜松市の歴史を記載した「浜松市史」2巻の享保四年（1719年）の記録によると、「諏訪社のある村は十四か村におよんでいる。その由緒は往古天竜川出水のとき信州から諏訪明神の神札が漂着したのを祀ったとするものが大部分である。これは天竜川の水利にあずかるとともに水厄からも免れたいとする庶民の祈りが、諏訪大明神の信仰となって現れたとみるべきであろう…」と記されています。天竜川の下流の人々が、水害に遭い流れて漂着した諏訪明神の神札を祀って頂いたことに諏訪人として感謝します。

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局：諏訪地域振興局企画振興課 TEL：0266-57-2901